



『やまぎんリレーションシップバンキングプラン【平成19年度~21年度】』 平成20年度の進捗状況

平成21年5月15日 山 口 銀 行



- 1. YMFGリレーションシップバンキングの基本方針
- 2. 取組みにおける「3つの柱」
- 3. 平成20年度における進捗状況
 - ①お取引先支援の一層の強化
 - ②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備
 - ③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供
- 4. 地域貢献情報



YMFG 1. YMFGリレーションシップ。バンキングの基本方針



- (1)地域・お客様・YMFGが共存共栄していくためのリレーションづくり に全力を尽くしてまいります。
- (2)地域のお客様に、その取組み・実績について適切な情報開示を行ってまいります。
- (3)グループの取組みとして「3つの柱」を定め、その柱をベースに 山口銀行・もみじ銀行において具体的な取組みを行ってまいります。
 - ①お取引先支援の一層の強化
 - ②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備
 - ③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供
- ※上記方針に基づく取組みは、中期経営計画(YMFGファーストプラン)における 取組みの一環として実践してまいります。

当行のリレーションシップバンキングプランは YMFGの基本方針のもとに策定・実践してまいります。



YMFG 2. 取組みにおける「3つの柱」



①お取引先支援の一層の強化

創業・新事業支援、経営改善支援、事業再生といった、取引先の成長段階に応じた支援をさらに強化してまいります。

②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資や、中小企業の資金調達手法の多様化への対応を進めると共に、地域の利用者ニーズに対応するための人材育成に注力してまいります。

③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

地域再生推進のための産学公連携等を推進します。また、利用者の声を把握し、地域活性化につながる多様なサービス提供につなげてまいります。





①お取引先支援の一層の強化

項目	進捗状況
創業・新事業支援機能の強化 平成20年度(財)やまぎん地域企業助成基金の表彰式の模様	・(財)やまぎん地域企業助成基金より、新製品開発や新事業展開に尽力されている企業20社に助成を行いました。平成20年度末時点で助成企業は累計321社となりました。 ・やまぐちドリームファンドより2社60百万円の投資を実行しました。 ・山口県と『やまぐち地域総合支援ファンド』を創設しました(当行出資額197百万円)。 ・産業クラスターサポート金融会議山口地域分科会において、研究意欲の高い企業3社のプレゼンテーションの場づくりをさせていただきました。 ・平成21年1月(財)ちゅうごく産業創造センターと技術事業化評価事業について提携。平成21年3月に当行お取引先が初の評価書受領企業となるなど、優れた独自技術を有するお取引先の事業展開のサポートをさせていただきました。 ・もみじ銀行と共同で『エコ』をテーマとしたビジネスマッチングフェアを開催しました。山口、広島、福岡などから96社(企業81社・支援機関15社)が出展し、約1,800名のご来場をいただきました。 また(独)中小企業基盤整備機構による「販路開拓相談会」、日本貿易振興機構や当行国際部による「海外(中国)進出相談会」を実施しました。 ⇒当日商談成約件数…3件、継続商談件数…68件(当日アンケート結果より) ②創業・新事業支援に資金使途を限定した制度融資商品の実績 ⇒平成20年度中…19件、167百万円





①お取引先支援の一層の強化

項目	進捗状況
経営改善支援の取 組み	・本部スタッフや外部との連携により、引き続き再生支援先への経営改善支援に尽力しました。

経営改善支援等の取組み実績【平成20年度】

		期初債務者数 A	うち経営改善 支援取組み先 α	α のうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数 β	はのフク丹生	経営改善支援 取組み率 = α/A	ランクアップ率 = β / α	再生計画 策定率 = δ / α
要注意先	うちその他要注意先	9,165	135	4	9	1.47%	2.96%	6.67%
意先	うち要管理先	130	13	10	0	10.00%	76.92%	0.00%
	破綻懸念先	1,560	43	3	3	2.76%	6.98%	6.98%
	実質破綻先	369	1	0	0	0.27%	0.00%	0.00%
	破綻先	150	2	0	0	1.33%	0.00%	0.00%
	合 計	11,374	194	17	12	1.70%	8.76%	6.19%





①お取引先支援の一層の強化

項目	進捗状況
事業再生に向けた 積極的取組み	・従来に引き続き、中小企業再生支援協議会の積極的活用、また必要に応じ、監査法人、税理士、弁護士等専門家との連携を行い、再生支援先の事業再生に積極的に取り組みました。
	【取組み事例】 ③取引先B社(製品製造業)の再生…再生支援協議会との連携 ・地元の有力同業企業と事業提携。 ・製造部門を廃止するも、部門ごと提携業者へ移行することで製品ブランドを維持。 ⇒業態を卸売へ変更し販売に特化することで収益改善を図り、一定の雇用確保と製品ブランドを維持することで地域経済の沈下を防ぐ布石を打った。
事業承継	 ・後継者不在ニーズに対応するため、㈱日本M&Aセンター、日本政策投資銀行等との連携を強化しました。 ・事業承継にかかるM&A支援実績として2件取組みました。



3. 平成20年度における進捗状況



②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

進捗状況 項目 不動産担保・個人 ・担保及び第三者保証を不要とするスコアリングモデルを利用した融資商品 の推進を引き続き実施しました。 保証に過度に依存 しない融資の推進 平成20年度末実績(百万円) やまぎんビジネスローンパートⅡ 5.017 クイック・きららサポート 36. 374 広島県無担保スピード 1.998 元気フクオカ資金 3, 893 クイック福岡 4, 862 動産、債権譲渡担保融資について引き続き推進いたしました。 平成20年度融資額(百万円) 件数 売掛債権担保融資 60件 600 動産担保融資 8件 135 合計 68件 735





②お取引先の資金ニーズに応じた営業態勢の整備

項目	具体的取組み
「目利き機能」の発揮に向けた取組み	・中小企業のお取引先への金融円滑化に資するため、新規融資申込み等の申出に対して、親身で迅速・柔軟な対応を徹底するよう社内通牒や地区支店長会議等で徹底すると共に、貸出条件緩和に関する判定基準を変更するなど、中小企業のお取引先の特性や実態を踏まえた対応へ注力しました。・また、セーフティネット保証制度の積極的な活用を行い、中小企業のお取引先の資金繰り円滑化を支援しました。 〇セーフティネット保証実績(平成20年11月~21年3月) 累計件数: 2, 492件、実行金額: 約560億円
	 ・お取引先企業の将来性や技術力を的確に評価できる専門性の高い金融エージェントを増やすべく人材育成に注力いたしました。 ⇒行内研修や行内各種トレーニーを実践しました。 ⇒中小企業診断士育成や目利き能力向上を目的とし、行員を研修派遣いたしました。 ⇒お取引先へ行員を出向することで、業界動向に精通した目利き人材育成を実施しました。





③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

項目	具体的取組み
地域再生推進のための各種施策との連携等	・山口県初のPFI事業である「高井県営住宅整備等事業」のプロジェクトファイナンスを平成20年12月にアレンジャーとして組成しました。今後は事業期間約20年に亘り、エージェントとして本事業に関与していきます。 ・国(法務省)が実施する「島根あさひ社会復帰センター整備・運営事業」のプロジェクトファイナンスに対して、平成20年9月に融資金融機関として参加しました。 ・山口県第2弾PFI事業である「下関地域総合武道館(仮称)整備等事業」に対し、融資関心表明書を提出するなど、積極的な関与を行いました。 ・今後も引き続き、地域金融機関として地元PFI案件には積極的な関与を継続し、ノウハウの蓄積を図るなど地域活性化に貢献していく方針です。





③地域活性化に向けた多様な金融サービスの提供

項目

具体的取組み

地域活性化につながる多様なサービス



◆やまぎん史料館の開館(平成20年11月)

⇒当行の創業からの歴史等に関する史資料のほか、山口県の代表的な伝 統工芸品などを展示し、地域の皆様の交流、憩い、学びの場をご提供しました。

◆「旧宇部銀行保存応援キャンペーン」の実施(平成20年6月~8月)

⇒宇部市による旧宇部銀行本店建物保存活動へ協力するためキャンペーン 定期預金を販売し、定期預金増加額に応じた金額を「旧宇部銀行保存基金」 へ寄付いたしました(22百万円)。



やまぎん史料館の開館 (平成20年11月)

◆国際交流活動

【海外留学生の受入れ】

⇒下関市立大学の聴講留学生として、中国・タイ・トルコより海外留学生を受け入れています。これまでに129名の学生さんを受け入れてきました。

【日中小学生の交流支援】

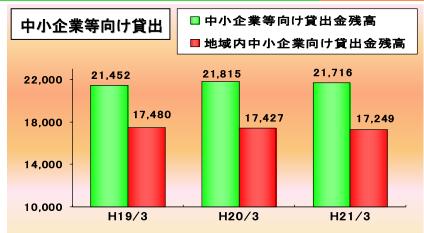
⇒中国青島市・大連市の小学生を招待し、日本の小学校を訪問する取り組 みを継続して実施しています。



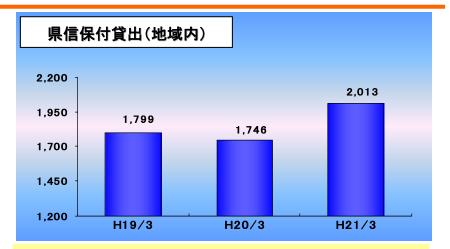
4. 地域貢献情報

中小企業金融円滑化への取組み





●平成20年度、特に中小企業のお取引先は全国規模の深刻な不況のあおりを受け、受注減少など厳しい環境が続きました。当行は中小企業のお取引先の資金需要等に積極的に取組み、ほぼ例年度並の実績となりました。



- ●県信保付貸出残高(地域内)は、セーフティネット保証の 積極的活用により前年比+267億円増加しました。
- ※セーフティネット保証実績(H20/11~H21/3月) 累計2,492件、約560億円

ビジネスサポートプラザ



- ●中小企業・個人事業主のお客さまとのリレーションシップ強化ときめ細かな資金需要にお応えすることを目的として、平成19年7月に下関ビジネスサポートプラザを開設しました。
- ●平成20年度は地域のお取引先へ積極的な融資対応を行い、864百万円の実績を上げました。
- ●平成21年4月には、宇部と<mark>徳山</mark>にもビジネスサポートプラザを新設し、これまで以上に中小企業・個人事業主のお客さまの幅広いニーズにお応えします。

※単位:億円、 ※「地域」の計数は、山口県・北九州市・広島市以西の合計値

※中小企業とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、サービス業は5千万円)以下の会社、または常用する従業員が300人(ただし、卸売業は100人、小売業は50人、サービス業は100人)以下の会社及び個人であります。



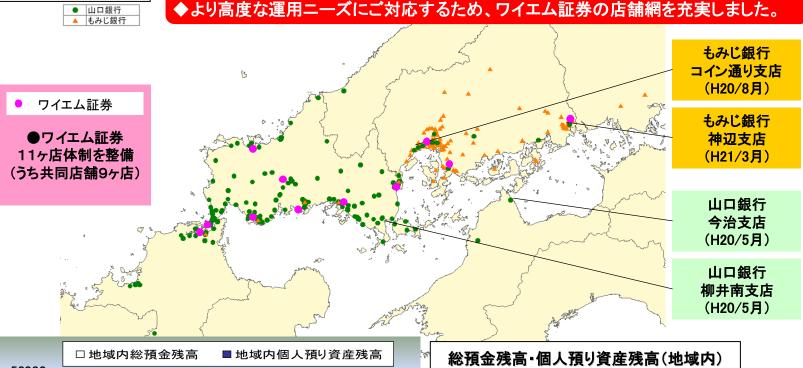
4. 地域貢献情報

あらゆる金融サービスのご提供





- ◆さらなる利便性のため、山口銀行・もみじ銀行の店舗ネットワークを拡充しました。
- ◆より高度な運用ニーズにご対応するため、ワイエム証券の店舗網を充実しました。





- ●地域内総預金残高は年々増加しており、平成21年3月末 時点で3兆9.552億円となりました。
- ●地域内個人預り資産残高は年々増加しており、平成21年3 月末時点で5.171億円となりました。

※単位:億円

※「地域」の計数は、山口県・北九州市・広島市以西の合計値 ※個人預り資産は、債券(額面ベース)・投資信託(額面ベース)・個人年金保険 の合計値。